



インターンシップがきっかけで設計の扉を開いた三宅温さん。JR九州コンサルタンツに入社して5年、好きな仕事をしているから、仕事でミスをして、怒られても頑張れます。専門は鋼構造、最近是他部署から相談を受けることもあり、技術者としてスキルアップは欠かせないと語る。意欲溢れる三宅さんの目標を伺った。

### ●技術職を選んだきっかけ

得意科目を活かせる上、就職に有利と聞いていたので工学部を選択しましたが、将来については曖昧なままでした。気持ちに変化があったのは、大学でインターンシップに参加したときです。企業はゼネコン。施工現場で設計の重要さを目の当たりにし、計画の要となる設計に関わる仕事がしたい「将来はコンサルに行く」と決めました。

入社したJR九州コンサルタンツでは、生まれ育った九州で学んだことを活かせる、地域貢献など、その全てが可能だと思いました。

### ●現場の魅力や責務

鉄道は地上を走る一番重い輸送手段。乗客の安全安心を一番考えて設計しなければなりません。設計業務に携わった構造物が図面通りにできあがり、地域の方々が利用されているところを見ると、達成感や喜びを感じます。鉄道は利用する人の足を担っている、大事な社会インフラです。生活に必要不可欠な鉄道を守る。この仕事に携わるとは、大きなやりがいです。

### ●仕事のこだわりやポリシー

私たちの設計するものは、列車に関係するものがほとんどです。独特のルールがとて多く、毎日が勉強です。例えば、鉄のレール上を鉄製のタイヤが走ることにより特有の作用が発生しますし、線路内作業における厳格なルールも多々あり、設計段階で考えることがたくさんあります。

設計の仕事は条件の変更、計算段階でのトライアンドエラーなど、予定通りにいかないことも少なくありません。大型構造物であればなおさら、広範囲に影響が出てしまいます。仕事の全体像と目標をおさえながら、効率よく業務を進める方法を模索しています。不明確な点は早い段階から関係者に確認を取り、発注側

## 担い手シリーズ③

# 列車の安全で正確な運行を守るために、努力を怠らない

三宅 温 入社5年目  
JR九州コンサルタンツ株式会社



の考え方と齟齬が生じないように意識しています。

### ●印象的な仕事

トラス橋の仮組検査に同行した際、数十枚の図面が大型の構造物となって完成していることに感動を覚えました。製作の現場を見る機会はほとんどなく、部材の組立や連結部などを実際に見ることができ、大変勉強になりました。

### ●今後の目標

担当業務をミスなく遂行することはもちろんですが、今後は多方面へ知見を広げていきたいと考えています。設計から、製作・施工、維持管理まで、土木構造物の一連の流れを知識として身につけ、業務に生かしていきたいと考えています。

私の専門は鋼構造なのですが、最近別の部から、質問を受けることが増えました。橋の検査に同行することもあり、維持管理について学んでいます。検査で見た橋の状態、さびやすい、風通しが悪い構造など、現場に行き状況を知ること新設計に生かれます。社内に鋼の専門が少ないので、知識や経験を増やして少しでも役に立ちたいと思います。

また、生産性向上の取り組みとして、BIM・CIMの3次元モデルを活用する場面が増えてきました。押し寄せてきたデジタルの波に対応できるように、専門性を磨いていきたいと思っています。



三宅 温 (みやけのどか)  
福岡県出身。九州工業大学 建設社会工学科卒業。平成30年4月JR九州コンサルタンツ(株)入社

### 会社概要

JR九州コンサルタンツ株式会社  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-1-14  
TEL. 092-413-1035 FAX. 092-413-1022  
<http://www.jrqc.co.jp>